

令和4年度（2022年度）  
一般社団法人渋谷未来デザイン  
事業計画書

自 令和4年（2022年）4月1日  
至 令和5年（2023年）3月31日

## 1 一般社団法人渋谷未来デザインの設立趣旨と基本方針

渋谷未来デザイン（以下FDS）は、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など、渋谷に集まる多様な主体、多くの地域の産官学民のステークホルダーと共に実現するオープンイノベーションにより、社会的課題の解決策と可能性をデザインする組織として2018年に設立し、2022年度は5年度目を迎えます。

渋谷区基本構想の「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」の未来像に示された渋谷区の持続的な発展へとつながる7つの分野、A：子育て・教育・生涯学習 B：福祉 C：健康・スポーツ D：防災・安全・環境・エネルギー E：空間とコミュニティのデザイン F：文化・エンタテインメント分野 G：産業振興 のすべてにコミットすることをイメージしながら、渋谷区と連携協力しながら、渋谷の可能性、未来を踏まえた都市の可能性のデザインを推進する事業を展開しています。

## 2 2021年度の状況

FDSは、これまで、多様性あふれる未来に向けた世界最前線の実験都市「渋谷区」をつくるイノベーションプラットフォームとして、企業・市民と共に多様なアプローチで、課題解決のみではない様々な“可能性開拓型”のプロジェクトを推進し、2018年に15の参画パートナーの皆様の支援により発足したこの組織も、2021年度には100社を超えるパートナー企業・団体が組織・プロジェクトに参加し、共に活動を進めています。

過去2年間においては、コロナ禍の制約があっても、必要な感染対策などを徹底しながら、今、できることを着実に進めることに全力で取り組みました。各方面から注目を集めた都市連動型メタバース「渋谷区公認バーチャル渋谷」や4年目を迎えた「SOCIAL INNOVATION WEEK 2021 (SIW)」は、新たなイベントのあり方にチャレンジしながら、コンテンツ自体を充実させ、年間を通じた取り組みへととして継続的に進化しています。結果として、「バーチャル渋谷au5Gハロウィーンフェス」が第7回JACEイベントアワードにおいて、最優秀賞（経済産業大臣賞）を受賞するなど、引き続き、多方面からの評価をいただいております。

また、2021年11月には、参画パートナーである株式会社日建設計の協力により、工作舎より「変わり続ける！シブヤ系まちづくり」というFDSとして初めての書籍を刊行しました。100年

に一度と言われる渋谷駅周辺のまちづくりを、人にクローズアップしたカタチで、渋谷を変えた41人が語る“渋谷モデル”のまちづくりを、豊富で貴重な写真や資料で構成されたこれまでにない書籍となりました。

さらに、FDSとして、管理（系）部門とコーポレート（系）部門を新たに設置して、各プロジェクトをサポートすることで、法人としての収支バランスに常に目を配るとともに、パートナー会員企業との日頃のコミュニケーションやホームページ・SNSの充実を図りました。結果として、FDS全体の収支は大幅に改善されました。

これからも、VUCAの時代と言われる答えのない時代であることを踏まえ、答えをつくるのではなく、社会に対して問いを立て、その問いをどうつくり直していくのかを追求し続けていきます。

### 3 2022年度の事業計画

新たに迎える2022年度については、コロナウィルス感染状況の終息が世界規模で見込まれる状況も踏まえながらも、FDSとしては、昨年同様、今できることに着実に取り組むことを中心に据えて、組織体制と事業の推進・再編に取り組みます。

組織体制としては、設立当初から事業全般を統括していた民間出身の事務局次長が、新事務局長として就任し、一層充実した体制を構築し事業を推進します。具体的には、コーポレート系部門、とりわけ広報及び法人会員制度を強化し、通年でパートナー会員企業との向き合いやコミュニティ形成を強化するため、広報チームと法人会員チームを統括するマネージャーを設置します。法人会員制度は、新たに制度化した「パブリックパートナー（国、都道府県ほかの地方自治体及びそれらの外郭団体、社団法人、財団法人、NPO、学校法人、独立行政法人などが、公益性を有するプロジェクトやイベントにおける連携協力をするを目的に入会する）との連携も視野に入れた組織運営を行います。

事業については、2021年度に取り組んで来たプロジェクト事業の継続性を維持しながら、さらなる成長が見込めるイノベーション事業として、1 ダイバーシティ&インクルージョン事業（Social Innovation Week Shibuya）2 創造文化都市事業（渋谷5Gエンターテイメントプロジェクト）、3 アーバンスポーツ事業（NEXT GENERATIONS/FUTURE SPORTS）、4

子育て・教育事業（ネウボラ事業支援/子ども第三の居場所）、5 サステイナブル事業（公認スーベニア/Women's Wellness Action from Shibuya/環境アクション/もしもプロジェクト）の5つの事業カテゴリー（10プロジェクト）、将来の事業発展を目指しながらも、現時点では研究、調査、地域貢献などの取り組みを中心とした活動であるインキュベーション事業としては、6 スマートシティ事業（渋谷データコンソーシアム）、7 公共空間NEXT事業（公共空間利活用/パブリックプレイス）、8 市民共創事業（ササハタハツまちラボ）の3つの事業（4プロジェクト）の他に、9 広告・イベント、10、法人会員制度といった全体で10の事業カテゴリーを推進します。

今後も継続的に、社会情勢やプロジェクトの状況に応じながらの整理、変更を検討しながら、関連のある事業、収益性のバランス、担当者の連携協力体制などを考慮しつつ、事業を超えた横の連携、調整を図るために、事業全体を統轄する仕組みづくりを進めます。こういった組織の再編、事業体制の強化により、コロナの収束時期に関わらず、新たに生じる社会課題にも柔軟に対応できる組織を目指します。

イノベーション事業：

#### (1) ダイバーシティ&インクルージョン事業

市民発意・実施のプロジェクト総合支援事業や、ダイバーシティ&インクルージョンを推進するためのイベントの企画・実施、学校連携プロジェクトなどの事業。

プロジェクト1：Social Innovation Week Shibuya

#### (2) 創造文化都市事業

創造文化都市渋谷を実現するための制度設計提案・推進や政策提言の仕組みづくり、街全体でクリエイティビティを育む実験ラボなど、都市の付加価値向上に寄与する事業。

プロジェクト2：渋谷5Gエンターテインメントプロジェクト

### (3) アーバンスポーツ事業

渋谷区全体をプレイグラウンドと捉えて渋谷でもっとスポーツを「する / 観る」をクリエイションし、フィジカルとデジタルで活躍できる場を提供していく事業。

プロジェクト3：NEXT GENERATIONS

プロジェクト4：FUTURE SPORTS

### (4) 子育て・教育事業

これからの社会を担う子どもたちが安心して過ごせる環境づくりと、地域全体で「みんなが、みんなの子どもを育てる」コミュニティ創出を目指す事業。

プロジェクト5：ネウボラ事業支援

プロジェクト6：子ども第三の居場所

### (5) サステイナブル事業

SDGsの理念に則り、渋谷のさまざまな社会課題解決に向け具体的でサステイナブルなアクションを起こし、シティブランド向上とより良い地域社会の形成を目指す事業。

プロジェクト7：公認スーベニア

プロジェクト8：Women`s Wellness Action from Shibuya (WWAs)

プロジェクト9：環境アクション

プロジェクト10：もしもプロジェクト

インキュベーション事業：

### (6) スマートシティ事業

データドリブンな社会課題解決を目指し、区内デジタルインフラ整備や最先端テクノロジーの社会実験を行い、新しい都市サービスを実装するための事業。

プロジェクト11：渋谷データコンソーシアム

## (7) 公共空間NEXT事業

公共空間の利活用並びに都市におけるパブリックプレイスの新たな価値創造など、創造文化都市渋谷にふさわしい都市空間のあり方を実験・提案する事業。

プロジェクト12：公共空間利活用

プロジェクト13：パブリックプレイス

## (8) 市民共創事業

今後のまちづくり活動の礎となる、混在住宅地における企業活力を導入した新しい市民共創を具体的に社会実験しながら実装し、各地域におけるこれからのエリアマネジメントのあり方についての提案する研究事業。

プロジェクト14：ササハタハツまちラボ

その他の事業：

## (9) 広告・イベント

企業や団体のマーケティング活動として期間限定で行う広告、イベント、サンプリング案件などを支援しながら、渋谷での継続的な共創事業への発展を目指す事業。

## (10) 法人会員制度

FDSを事業面、資金面で支援いただく法人を会員として認定。2021年度より非営利法人などを対象としたパブリックパートナーの制度を開始。FDS事業の拡大、資金面のサステナビリティを担保する意味で関係性の充実及びさらなる会員数拡大を図る。

各プロジェクト一覧は表1のとおりです。

表1 各プロジェクト一覧

イノベーション事業
(1) ダイバーシティ&インクルージョン事業
① Social Innovation Week Shibuya (SIW) 国内最大級の都市型フェスとして、企業や団体、クリエイター等との出会いの場を提供し、SIWを起点にして生まれたアイデアやソリューションの社会実装を目指す。
(2) 創造文化都市事業
②渋谷5Gエンターテインメントプロジェクト KDDI、FDS、渋谷区観光協会を中心とし、リアルとバーチャルを組み合わせた新たな体験価値を生み出し、最先端且つアクティブな次世代の渋谷の価値創造を目指す。
(3) アーバンスポーツ事業
③NEXT GENERATIONS ストリートスポーツの振興とマナー啓蒙を実施し、街にプレイグラウンドを創り出すプロジェクト。渋谷らしいスポーツ文化の醸成を、シーンやパートナーと三位一体での共創を目指す。
④FUTURE SPORTS 渋谷区全体をプレイグラウンドと捉えて、区内の公園、公共施設や企業の施設などを有効活用し、渋谷でスポーツを「する / 観る」を当たり前に行えるような社会実験を行いながら、都市ならではのスポーツの提案とコミュニティ作りを行う。
(4) 子育て・教育事業
⑤ネウボラ事業支援 渋谷区子育てネウボラの周知活動を中心に、会員企業などと連携し、区の子育て支援施策を共同して推進することを目指す。
⑥子ども第三の居場所 日本財団が中心となって全国に開設している「子ども第三の居場所」の拠点の一つとして渋谷区児童青少年センターに「みらいの図書室」を開設。様々な体験学習プログラムを展開して、子どもたちの生き抜く力を高めることを目指す。
(5) サステイナブル事業
⑦公認スーベニア 渋谷の地域資源を体現するスーベニアを通じて、企業・団体とともにソーシャルアクションを促進する。収益の一部は、渋谷の地域課題に還元する。
⑧Women`s Wellness Action from Shibuya (WWAs) 「女性の健康が世界を変える」をテーマに、渋谷から女性の心と体の健康に関する情報を発信し、フェムテック等を活用した課題解決のための行動を促進する。

<p>⑨環境アクション</p> <p>環境配慮活動を事業活動と関連付ける企業をネットワーク化、SDGs や地域貢献等をキーワードとした企業価値を、産官学連携して創出するプロジェクトを展開する。</p>
<p>⑩もしもプロジェクト</p> <p>体験型の「防災・減災」イベントを通じて、「もしも」の災害を考え、備え、正しい防災知識を持つことにより、渋谷の街のレジリエンス向上を図る。</p>
<p>インキュベーション事業</p>
<p>(6) スマートシティ事業</p>
<p>⑪渋谷データコンソーシアム</p> <p>産官学民のデータを掛け合わせ、社会解決の新たな知見やソリューションを創出できる基盤を構築し、渋谷区の行政サービスや社会サービスの開発と提供を目指す。</p>
<p>(7) 公共空間 NEXT 事業</p>
<p>⑫公共空間利活用</p> <p>ひと中心のウォークラブルなまちを実現するため、地域課題解決に向けて、地域関係者との協働により公共空間利活用の計画、試行を実施し、地域価値を向上させていく。</p>
<p>⑬パブリックプレイス</p> <p>公園の高度利用を目的とし、渋谷区立宮下公園のバーチャル空間を構築。リアルとバーチャルの融合による新たな価値提供のための社会実験を行い、これからの施設のあり方を検討する。</p>
<p>(8) 市民共創事業</p>
<p>⑭ササハタハツまちラボ</p> <p>まちづくり共創プラットフォームとして、エリアに関する行政機関、民間企業、各種団体及び区民の幅広い参加の下で暮らしの質の向上を図ることを目的とし、コミュニティ活動支援・運営事業、緑道活用に関する官民連携事業、情報発信事業を行う。</p>